

## 御礼とお詫び

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より私の政治活動に対しまして、格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

さて、岡山市の政令指定都市移行に伴い、岡山市選出の県議会議員の選挙区が、四つの区に沿って分けられることになりました。当初、岡山市第一選挙区においては、人口に比して、北区に該当する自民党議員が多かったため、法律に基づいて「くじ引き」で、所属議員を決めることが検討されましたが、誰も異動を希望せず、元幹事長・森正人議員のご逝去もあり、自由民主党岡山県連合会の内部的な協議により、私が、南区所属の現職県議会議員とならさせて頂くことで、一定の結論を得ました。

このこと自体、私自身、全く想定しておらず、県議会議員として丁度十年間、お育て頂き、北区の皆様にはこれから恩返しをさせて頂けるものと信じておりましたが、自民党の組織論としては、いかようにもなし得ず、かような結果になりましたことを心からお詫び申し上げます。特に、自民党議員としてではなく、あくまで佐藤真治だからと、支えて下さった皆様には、手前勝手な裏切りのようにも思えて、なんと申し上げて良いのかすら分かりません。本当に申し訳ありません。

もとより、家業の陶器店は、明治時代から北区平和町（桶屋町）にあり、多くの同窓生は、北区に集中して居住されている状況で、後援会の皆様の御住所も、北区と南区では、七対一の割合であるのが現状であり、なんの条件も約束もあるわけではない、不安だらけの究極の選択になりました。他の誰よりも、地域への愛と誇りを持っているつもりですし、一人暮らしの母や、子どもの学校のことを考えると混乱の極みにあります。それでも、誰かが、それをしなくてはいけなかったのです。他の議員に、そうした苦しみを委ねるわけにはいきませんでした。私にしかできなかったことなのでしょう。

今後は、与えられた私の宿命の中で、県議会議員としての責務を果たし、岡山市南区はもちろん、今まで以上に北区のために、なによりも、岡山県政のさらなる発展のために全力を尽くす所存です。皆様への感謝の思いを岡山県全体の発展に必ず結果させて頂きます。

北区に在住の皆様は、県議会議員選挙において、私に一票を投じて頂くことをお願いさせて頂くことは、もう二度とできないことになるかもしれません。それ以外に何も変わりません。願わくば、どうか、皆様や地域との御縁が決して切れることがないよう、私の責任を全うさせて頂くことができますよう、今まで以上に、御要望や御案内を頂戴できればと存じます。引き続き、どうかよろしくお願い申し上げます。

まずは、略儀ながら書中をもってご挨拶申し上げます。

謹白

平成二十一年七月吉日

岡山県議会議員